

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	1-2-3		事業名	児童会館における中・高校生の利用促進			
担当	子ども未来局子ども育成部子ども企画課 藤田						211-2982
全体計画							
事業内容	<p>中・高校生の健全育成のための放課後の居場所づくりの必要性から、中・高校生を対象に、児童会館の開館時間を21時までまで延長(中学生の利用は19時まで)し、利用の促進を図る。平成18年度より実施しており、今後実施館数の拡大を順次図りながら検証を重ね、22年度までには、全児童会館での実施を目指す。</p> <p>事業費については計画期間中の新規実施に係る事業費のみ計上する(レベルアップ事業)</p>			<年度別の事業内容>			
				<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年度 新規20館(計40館)で週2回実施検証 ・平成20年度 新規20館(計60館)で週2回実施検証 ・平成21年度 新規20館(計80館)で週2回実施検証 ・平成22年度 新規24館(計104館)で週2回実施検証 			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	<p>【実施館数】平成19年9月に実施館を20か所増やし、計40館(各区4館)で週2回夜間利用を実施した。</p> <p>【利用者数】(1) 延べ: 32,628人<中学生: 12,352人(37.9%)+高校生: 20,276人(62.1%)> (2) 1館1回当たり平均: 10.3人<中学生: 3.9人+高校生6.4人></p> <p>【広報】実施館の拡大に伴い、学校を通じてチラシを生徒に配布するとともに、地下鉄駅にポスターを掲示。また、広報さっぽろ、ホームページ(携帯版含む)、広報番組等を活用し、広く周知を図った。</p> <p>【活動内容】スポーツ活動(バスケットボール、ダンス等)での利用が多いが、その他調理、読書、部活動の打ち合わせ、職員との会話(相談)、館の行事の手伝いなど様々な活動が行われた。</p> <p>また、環境問題を考える契機とするための「プレガイアナイト」や中・高校生の発案による「(他館との)自主交流事業」等の行事も実施した。</p> <p>【理解促進への取組】新規実施館について、地域や学校の理解を得るために、町内会、民生児童委員、青少年育成委員等の会議や中学校、高校に出向き、事業の説明を行った。</p> <p>【利用促進への取組】(1) 本事業に愛着をもってもらえるよう、中・高校生から本事業の愛称を募集した。(2) 中・高校生の参加による「中・高校生フェスティバル」を実施した。</p>			<p>【実施館数】より身近な場で気軽に利用できるよう、平成20年5月に実施館を更に20か所増やし、計60館で週2回夜間利用を実施。(地域性等を考慮し、各区4館~8館で実施)</p> <p>【利用者数】本事業の定着化、実施館数の拡大により、延べ利用者数の増加を見込んでいる。</p> <p>【広報】新規実施館の拡大に当たっては、19年度と同様に、チラシや広報さっぽろ等を活用した幅広い周知に努める。</p> <p>【活動内容】19年度と同様に、利用者のニーズに応じた多様な活動を行うとともに、利用者が企画、運営に関われるような行事等を積極的に実施する。</p> <p>【理解促進への取組】事業の円滑な推進を図るためには、地域や学校の理解が重要であることから、これまでと同様に、新規実施館については、町内会、民生児童委員、青少年育成委員等の会議や中学校等に出向き、個別に事業の説明を行う。また、ホームページ等を用い、随時活動内容等の情報提供を図る。</p> <p>【アンケート調査】今後の事業の在り方について検討するとともに、利用促進、事業内容の充実を図るために、利用者を対象にアンケート調査を実施する。</p>			
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
夜間利用実施館数		20館	40館	60館	80館	104館	104館
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 夜間利用をきっかけとして、中・高校生が町内のお祭りにボランティアスタッフとして参加するなど、地域住民との交流促進が図られ、まちづくりの推進に寄与した。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力]</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり 夜間利用の新規実施館について、町内会等の会議で個別に事業説明を行い、地域住民の理解促進に努めたところ、児童会館事業全般に対する関心が深まり、館の行事等への参加、協力が増えてきた。</p>							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	1-2-3		事業名	児童会館における中・高校生の利用促進														
評価(成果)				課題														
<p>中・高校生がより気軽に児童会館を利用できるよう、夜間利用実施館の拡大を進めたところ、全体として利用者数は増加してきていることから、中・高校生の利用促進が図られ、放課後の居場所として、徐々に定着してきているといえる。</p> <p>【利用実績】(利用人数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>延べ人数</th> <th>1館1回当たり平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18(A)</td> <td>17,735人</td> <td>9.2人</td> </tr> <tr> <td>H19(B)</td> <td>32,628人</td> <td>10.3人</td> </tr> <tr> <td>増加数(B)-(A)</td> <td>14,893人</td> <td>1.1人</td> </tr> </tbody> </table> <p>児童会館が地域における気軽な相談場所として利用されるようになってきている。(不登校の児童について、学校と連携し対応している例もみられる。)</p> <p>また、一部ではあるが夜間利用をきっかけとして、異年齢交流の一層の促進、ボランティア活動の広がり、地域住民と児童会館の関わりの強化などの効果が現れている。</p>				年度	延べ人数	1館1回当たり平均	H18(A)	17,735人	9.2人	H19(B)	32,628人	10.3人	増加数(B)-(A)	14,893人	1.1人	<p>今後も実施館を拡大していくが、利用に当たっての地域間格差を解消するために、夜間占用利用団体との調整が必要であるが、当該団体の活動内容等に配慮しながらも本事業への理解を求めていく必要がある。</p> <p>未実施の地域には、本事業に対する住民の理解が低い地域もあることから、本事業の円滑な実施のためには、事業成果のPRや地域との交流事業を充実させることで、地域の理解の向上に努めるとともに、実施回数や実施方法等についても柔軟な対応が必要である。</p> <p>利用人数について、全体としては、増加傾向にあるが、1館1回当たりの人数が10名程度であることや、館毎の格差が大きいことから、今後も中高生のニーズに応じた行事を企画するなどより一層の工夫が必要である。</p>		
年度	延べ人数	1館1回当たり平均																
H18(A)	17,735人	9.2人																
H19(B)	32,628人	10.3人																
増加数(B)-(A)	14,893人	1.1人																
今後の事業の予定・方向																		
<p>児童会館において夜間利用を実施し、中・高校生の利用促進を図った結果、より幅広い異年齢交流の促進などの成果がみられた。今後においては、「中・高校生の放課後の居場所」の確保のために、実施館の拡大を図るとともに、利用者ニーズを把握し実践しながら、より利用しやすい環境整備に努め、事業を促進していく必要がある。</p>																		
事業費の推移																		
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計												
計画	事業費	12,500	37,450	55,650	77,400	183,000												
	財源内訳																	
	国・道支出金	0	0	0	0	0												
	市債 その他	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0												
一般財源	12,500	37,450	55,650	77,400	183,000													
予算	事業費	12,500	34,745	-	-	47,245												
	財源内訳																	
	国・道支出金	0	0			0												
	市債 その他	0 0	0 0			0 0												
一般財源	12,500	34,745			47,245													
実績	事業費	11,629	-	-	-	11,629												
	財源内訳																	
	国・道支出金	0				0												
	市債 その他	0 0				0 0												
一般財源	11,629				11,629													
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				25.3%												
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)																		
(全体)																		
[19年度]																		
[20年度]																		